



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

コード番号 5471 URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

TEL 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	222,123	△5.0	10,562	10.0	11,033	18.6	6,771	22.9
25年3月期第2四半期	233,724	△3.1	9,604	△34.0	9,304	△34.6	5,507	△34.3

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 14,642百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 151百万円 (△97.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.61	—
25年3月期第2四半期	12.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	548,455		260,252		41.0
25年3月期	511,159		245,741		41.5

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 225,031百万円 25年3月期 211,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	1.50	4.50
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	456,500	3.6	21,000	36.1	21,500	30.5	13,500	22.9	31.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	434,487,693 株	25年3月期	434,487,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	759,987 株	25年3月期	740,608 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	433,738,829 株	25年3月期2Q	433,770,296 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	7
	四半期連結包括利益計算書	8
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
	(継続企業の前提に関する注記)	11
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
	(セグメント情報)	11
4.	補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が消費者マインドの改善にともない堅調であったことと、鉱工業生産についても底堅い国内需要と輸出の持ち直し、設備投資の回復などから緩やかな回復を続けてまいりました。特殊鋼の主要需要先である自動車・産業機械需要に関しても、米国自動車販売が堅調に推移していることに加え、前年度後半の在庫調整が完了し回復局面に移行したことなどから、持ち直しの動きが継続いたしました。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、収益改善への取組みを一層強化するとともにグローバルリーディング商品拡販等の中期事業課題にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、需要動向は回復傾向にあるものの売上数量が政策効果のあった昨年対比では減少したこと等から、前年同期比116億1百万円減収の2,221億23百万円となりました。一方、経常利益につきましては、収益改善効果および円安による為替差益が発生したこと等から、前年同期比17億29百万円増益の110億33百万円、四半期純利益は67億71百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

特殊鋼鋼材部門につきましては、自動車および産業機械向け構造用鋼需要が在庫調整局面から反転し回復傾向を強めてまいりましたが、昨年のエコカー補助金等の政策効果が剥落したことなどから、前年対比の売上数量は減少いたしました。一方、工具鋼関連需要については、ASEAN向け自動車関連需要を中心に輸出が堅調に推移したことから前年対比の売上数量は増加いたしました。

こうした需要環境のもと当社におきましては、需要の回復に柔軟に対応しつつ、併せてコスト削減についても継続して取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少により前年同期比1.6%減少の887億34百万円となり、営業利益についてもエネルギーコストの上昇影響等を受けたことから前年同期比1億27百万円減益の22億63百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス製品につきましては、産業機械およびHDD向け需要において前年の大幅な在庫調整影響が解消したことから、売上高は増加いたしました。高合金製品に関しては、リードフレーム素材からの撤退等により売上高は減少いたしました。磁材製品に関しては、FAサーボモーターおよびHDD用磁石の調整が完了したことに加え、EPS向け磁石が搭載率の上昇等によって拡大した結果、売上高は前年同期を上回りました。粉末製品に関しては、HEV向け軟磁性粉末は堅調に推移しておりますが、その他の製品で一時的な調整があったことから売上高は減少いたしました。チタン製品についても、輸出製品の在庫調整により売上高は減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、ステンレスおよび磁材製品の数量は回復局面にありましたが、ニッケル・レアアース価格の値下がりに関連製品の価格が連動したことと、高合金等の製品において在庫調整等の影響があったことから、前年同期比2.2%減少の704億71百万円となりました。一方、営業利益についてはステンレス・磁材製品の数量増加と固定費圧縮等のコスト削減効果により、前年同期比13億14百万円増益の54億12百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品につきましては、円安を背景として重電・プラント関連需要が拡大したことから売上高は増加いたしました。型鍛造製品につきましては、受注および生産数量は前期の調整局面から増加傾向にあるものの、前年同期対比での数量減と販売価格の見直しがあったことから売上高は減少いたしました。エンジンバルブ関連についても前年対比の数量減影響から売上高は減少しております。鋳鋼・精密鋳造品に関しては、産業機械向け鋳鋼品は低位に留まったもののターボ関連製品が堅調に推移したことから売上高は増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比1.0%減少の470億67百万円となりましたが、営業利益については自由鍛造品・ターボ関連製品の売上増加が寄与したことなどから前年同期比5億23百万円増益の22億73百万円となりました。

④エンジニアリング

エンジニアリング部門につきましては、ASEAN向け工事案件等海外向け売上は順調に拡大しておりますが、前年は大型物件の工事売上が集中したことから昨年対比の売上高は大きく減少しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間のエンジニアリングの売上高は、前年同期比42.5%減少の110億92百万円となり、営業損益についても売上の減少と工事案件の内容悪化があったことから前年同期比7億42百万円減益の1億円の損失となりました。

⑤流通・サービス

流通・サービス部門につきましては、不動産関係の請負工事案件が増加したこと等から当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.7%増加の47億57百万円となりましたが、営業利益については前年同期比11百万円減益の7億15百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ372億96百万円増加し5,484億55百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「有形固定資産」の増加122億32百万円…主として知多工場における製鋼プロセス合理化のための投資による増加。
- ・「投資有価証券」の増加91億88百万円…主としてその他有価証券の時価評価差額増加による増加。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産額は、前連結会計年度末に比べ145億11百万円増加し2,602億52百万円となりました。純資産額の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

- ・「利益剰余金」の増加65億28百万円…主として四半期純利益67億71百万円の計上による増加。
- ・「その他有価証券評価差額金」の増加55億84百万円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は41.0%となり、前連結会計年度末と比べ0.5ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の日本経済は、好調な個人消費に加え円安を背景とした輸出の回復や各種の経済対策効果によって回復基調を続けていくことが期待され、特殊鋼の主要需要先である自動車および産業機械関連需要に関しても海外需要の拡大と企業収益改善にともなう設備投資の回復によって持ち直し傾向が続いていくと考えられます。一方、海外市場に関しては欧州経済の脆弱さやASEAN、中国など新興国経済の成長鈍化など景気の下押し懸念が大きく、これらの環境変化による需要動向を注視していく必要があると考えております。また電力、燃料等のエネルギーコストに関しては為替の円安定着によって増加傾向が続いており、これらの経営課題にも対処していく必要があると認識しております。

このような経営環境のなか当社グループにおいては、徹底したコスト削減への取組みによって収益確保に努めるとともに、知多工場への戦略投資をはじめとする事業基盤の強化と磁石・ターボ部品・粉末材料といった成長商品の拡大戦略を推進してまいります。

当期の連結業績につきましては、自動車向け等の需要は現状堅調に推移しておりますが、電力をはじめとするエネルギーコストが拡大していることと今後の海外景気下振れリスク等を勘案し、前回(平成25年7月24日)公表した業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,020	56,572
受取手形及び売掛金	87,842	91,898
たな卸資産	94,036	98,492
その他	8,456	8,139
貸倒引当金	△271	△168
流動資産合計	242,084	254,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,242	56,739
機械装置及び運搬具(純額)	62,056	64,500
その他(純額)	46,620	52,912
有形固定資産合計	161,919	174,152
無形固定資産		
のれん	210	187
その他	3,954	4,834
無形固定資産合計	4,165	5,021
投資その他の資産		
投資有価証券	71,787	80,975
その他	31,344	33,522
貸倒引当金	△143	△151
投資その他の資産合計	102,989	114,347
固定資産合計	269,074	293,521
資産合計	511,159	548,455

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,233	72,195
短期借入金	42,006	50,431
1年内償還予定の社債	10,100	50
未払法人税等	1,761	3,097
賞与引当金	5,803	5,860
その他の引当金	431	165
その他	17,666	24,686
流動負債合計	144,001	156,485
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	63,430	70,290
退職給付引当金	6,865	6,991
その他の引当金	1,346	1,243
その他	19,774	23,192
固定負債合計	121,416	131,717
負債合計	265,418	288,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	134,789	141,318
自己株式	△347	△357
株主資本合計	200,157	206,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,512	16,096
繰延ヘッジ損益	1	9
土地再評価差額金	1,654	1,654
為替換算調整勘定	△403	595
その他の包括利益累計額合計	11,764	18,355
少数株主持分	33,819	35,221
純資産合計	245,741	260,252
負債純資産合計	511,159	548,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	233,724	222,123
売上原価	199,865	187,805
売上総利益	33,859	34,317
販売費及び一般管理費	24,254	23,755
営業利益	9,604	10,562
営業外収益		
受取利息	55	70
受取配当金	727	754
持分法による投資利益	364	348
為替差益	—	520
その他	890	906
営業外収益合計	2,038	2,601
営業外費用		
支払利息	1,051	961
固定資産除却損	471	554
為替差損	368	—
その他	447	613
営業外費用合計	2,339	2,130
経常利益	9,304	11,033
特別利益		
固定資産売却益	1,400	745
その他	14	0
特別利益合計	1,415	746
特別損失		
たな卸資産廃棄損	—	121
投資有価証券評価損	1,178	—
その他	354	4
特別損失合計	1,533	125
税金等調整前四半期純利益	9,185	11,653
法人税、住民税及び事業税	2,298	3,120
法人税等調整額	453	792
法人税等合計	2,752	3,912
少数株主損益調整前四半期純利益	6,433	7,741
少数株主利益	925	970
四半期純利益	5,507	6,771

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,433	7,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,272	5,685
繰延ヘッジ損益	3	7
為替換算調整勘定	18	1,133
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	75
その他の包括利益合計	△6,282	6,901
四半期包括利益	151	14,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△576	13,414
少数株主に係る四半期包括利益	728	1,228

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,185	11,653
減価償却費	9,390	9,352
貸倒引当金の増減額(△は減少)	144	△96
賞与引当金の増減額(△は減少)	54	52
退職給付引当金の増減額(△は減少)	65	113
その他の引当金の増減額(△は減少)	△274	△368
受取利息及び受取配当金	△783	△825
支払利息	1,051	961
為替差損益(△は益)	278	△199
持分法による投資損益(△は益)	△364	△348
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	3
投資有価証券評価損益(△は益)	1,178	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,403	△736
有形固定資産除却損	543	587
売上債権の増減額(△は増加)	9,658	△3,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	△581	△3,432
仕入債務の増減額(△は減少)	△879	5,414
その他	△2,763	△2,645
小計	24,496	16,179
利息及び配当金の受取額	795	827
利息の支払額	△1,083	△1,014
法人税等の支払額	△1,531	△1,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,677	14,603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△477	△75
有形固定資産の取得による支出	△11,273	△12,969
有形固定資産の売却による収入	2,470	870
投資有価証券の取得による支出	△3,025	△1,316
投資有価証券の売却による収入	6	14
貸付けによる支出	△794	△158
貸付金の回収による収入	319	242
その他	△1,243	△1,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,016	△14,701

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,766	△1,634
長期借入れによる収入	9,176	17,371
長期借入金の返済による支出	△13,445	△1,360
社債の償還による支出	△50	△10,050
配当金の支払額	△1,732	△653
少数株主への配当金の支払額	△653	△268
その他	534	△210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,936	3,193
現金及び現金同等物に係る換算差額	△258	302
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,534	3,398
現金及び現金同等物の期首残高	61,956	51,643
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,031
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	766	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,188	56,073

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	90,175	72,083	47,526	19,305	4,633	233,724	—	233,724
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	33,565	8,303	15,382	746	5,307	63,306	△63,306	—
計	123,741	80,387	62,908	20,051	9,941	297,031	△63,306	233,724
セグメント利益	2,391	4,097	1,749	641	727	9,608	△3	9,604

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	88,734	70,471	47,067	11,092	4,757	222,123	—	222,123
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	32,373	7,627	12,585	525	4,438	57,550	△57,550	—
計	121,107	78,098	59,653	11,618	9,195	279,673	△57,550	222,123
セグメント利益 又は損失(△)	2,263	5,412	2,273	△100	715	10,563	△0	10,562

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足説明資料

平成25年10月31日
大同特殊鋼株式会社

平成26年3月期 第2四半期決算発表

連 結

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高

(単位:百万円、%)

	25年9月 (前年同期差)		
	第2四半期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	88,734	-1,441	-1.6
機能材料・磁性材料	70,471	-1,612	-2.2
自動車・産業機械部品	47,067	-458	-1.0
エンジニアリング	11,092	-8,212	-42.5
流通・サービス	4,757	124	2.7
計	222,123	-11,601	-5.0

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位:百万円、%)

	25年9月 (前年同期差)		
	第2四半期	増減額	増減率
売上高	222,123	-11,601	-5.0
営業利益	10,562	957	10.0
営業外収益	2,601	562	—
営業外費用	2,130	-209	—
経常利益	11,033	1,729	18.6
特別利益	746	-669	—
特別損失	125	-1,407	—
税引前純利益	11,653	2,468	—
法人税等	3,912	1,160	—
少数株主利益	970	44	—
当期純利益	6,771	1,263	22.9

(3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位:億円) (参考:原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	25年9月 (前年同期差)	
				第2四半期	第2四半期
1. 販売数量増加	1	1. 販売価格下落	2		
2. 内容構成差他	2	2. 原燃料等市況	19		
3. 変動費改善	15				
4. 固定費改善	13				
5. 営業外損益	7				
計(a)	38	計(b)	21		
		差引(a)-(b)	17		

(4) 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期 25年3月末	当第2四半期 25年9月末	増減	科目	前期 25年3月末	当第2四半期 25年9月末	増減
流動資産	242,084	254,934	12,849	負債	265,418	288,203	22,785
現金	52,020	56,572	4,551	営業債務	66,233	72,195	5,962
営業債権	87,842	91,898	4,055	有利子負債	146,999	152,141	5,141
たな卸資産	94,036	98,492	4,456	その他	52,184	63,866	11,681
その他	8,185	7,970	-214				
固定資産	269,074	293,521	24,447	純資産	245,741	260,252	14,511
有形固定資産	161,919	174,152	12,232	株主資本	200,157	206,675	6,517
無形固定資産	4,165	5,021	855	その他の包括利益 累計額	11,764	18,355	6,591
投資その他の資産	102,989	114,347	11,358	少数株主持分	33,819	35,221	1,402
資産合計	511,159	548,455	37,296	負債純資産合計	511,159	548,455	37,296

(5) 予想セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	予想 (前期差)		
	26年3月期	増減額	増減率
特殊鋼鋼材	181,500	12,120	7.2
機能材料・磁性材料	144,300	7,447	5.4
自動車・産業機械部品	97,800	4,506	4.8
エンシ ^ニ アリンク ^ク	23,500	-8,457	-26.5
流通・サービ ^ス	9,400	454	5.1
計	456,500	16,071	3.6

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 (前期差)		
	26年3月期	増減額	増減率
売上高	456,500	16,071	3.6
営業利益	21,000	5,574	36.1
経常利益	21,500	5,024	30.5
当期純利益	13,500	2,516	22.9

(7) 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売数量増加	7.2	1. 原燃料等市況	7.3
2. 販売価格是正	4.2	2. 固定費の増加	1.7
3. 内容構成差他	1.5	3. 営業外損益	6
4. 変動費改善	1.7		
計(a)	14.6	計(b)	9.6
		差引(a) - (b)	5.0

	前期 25年3月期	予想 26年3月期
H2建値 (千円/t)	22.7	28.1
ニッケル(LME) (\$/1b)	7.69	7.02
モリブデン(MD) (\$/1b)	12.0	10.6

(8) 設備投資額 (計画ベース) および減価償却費

(単位：百万円)

	前期 (25年3月期)		当期 (26年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	10,200	25,400	10,700	24,600	500	-800
減価償却費	9,390	19,229	9,352	19,700	-38	471

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想 26年3月期
	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	
売上高	362,507	472,062	489,154	440,428	456,500
営業利益	△ 14,050	32,730	31,533	15,425	21,000
経常利益	△ 13,994	31,726	31,762	16,475	21,500
当期純利益	△ 14,610	23,003	22,717	10,983	13,500